

# 進捗報告書（実行団体）

事業名:	移住女性・家族が繋がる地域コミュニティ
資金分配団体:	認定特定非営利活動法人日本都市計画家協会
実行団体名:	公益財団法人京都YWCA
実施時期:	2021年6月～2022年2月
事業対象地域:	京都府・滋賀県・大阪府・奈良県・兵庫県
事業対象者:	生活困窮状態にある外国人、多文化ルーツの子ども

Version 1.2  
日付: 2021年12月20日

## I. 事業概要

<b>事業概要</b>
新型コロナウイルスの影響で生活困窮に陥った移住女性を対象に、平等に心身の健康と安全の確保ならびに自立支援（母語による生活相談、子どもの教育支援、緊急生活物資支援、就労のための日本語学習支援など）を対面・非対面両方で行い、京都市(山科区)在住の移住女性のファミリーとファミリーの横の繋がりを強めて情報共有を図り互助ファミリーコミュニティを構築する。同時に関係機関・地域との連携・協働支援に取り組み、移住女性のファミリーコミュニティの包摂から地域コミュニティの活性化に繋がるまちづくりを目標とする。事業を持続可能な形態にするための関連機関との連携、寄付及び助成を募ることを模索する。

## II. 進捗報告の概要

<b>総括</b>
支援者向けの養成・講座など講師との日程調整を含めて日程の遅れはあるが、相談者向けの支援活動は順調に進んでいる。支援の専門性(DV、虐待、教育、出産を含む育児など)を要求するケースが増加。オンラインでの通訳・学習・日本語支援が増え、合理性は高まるが、関係性の深めるために他地域の施設訪問も継続中。支援者育成の実施が延長になり、事業企画の更新検討を支援者のニーズの基に実施予定。

## III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
①多言語相談(母語支援)支援により、行政相談機関・母子施設との連携 ②就職のための日本語教育支援を受けてハローワークの職業訓練、介護実務者研修への参加、コミュニティ通訳者の養成。 ③母親向けの教育相談、子どもの進学・就学の際に必要な支援（説明会、懇談会、見学など）教育委員会と連携、子ども学習支援を受け、進学する。 ④生活困窮者の直性支援(予防衛生物資、基本食料、教材・タブレットの貸出及び配布。 ①～④による総合的な支援を受けた移住女性家族は生活困窮から抜け出し、施設を退室して住居(公営住宅)を確保する。 ⑤地域社会で安定した暮らしのために横の繋がりがからなる移住女性コミュニティを結成(山科区)。 ⑥外国人理解を深めるための養成講座・研修を実施、行政機関との協働体を形成。 ⑦地域コミュニティとの交流会及び関連機関との協力のもとシンポジウムを持つ。*すべてのプログラムを(対面、非対面)で実施できる環境と整える。	①～④ コミュニティ通訳者の養成除き順調に進んでいる。 ⑤移住女性コミュニティ結成；山科区の移住女性の子育て（幼児）をベースにしたコミュニティづくりのためにキーパーソンになる移住女性とミーティング。醍醐地域の小・中・高校生向けの学習会を実行と共に移住女性コミュニティ結成を進めている。移住女性のニーズに合わせた日本語教室(教育・職業)を中心にしたコミュニティ結成のために就学・進学に関する教育支援を進める予定。ファミリーコミュニティ構築のためのグループミーティング；介護仕事をしているひとり親移住女性と子どもたちとの集まりを予定(心身のリフレッシュ) ⑥オンライン技術支援に関する研修・学習会のみ実施。 ⑦12月の実施予定だった研修を延期。交流会を実施。

活動	進捗状況	概要
<p>母語での相談・支援；移住女性の日程に合わせて訪問・同行・来所/相談窓口（毎週月曜日13：00～15：00、毎週木曜日13:00～18:00）/ひとり親のレベルとニーズに合わせた日本語教育/仕事に必要な日本語教育(介護、飲食店、工場)/子どもたちの学習支援 毎週月曜日16：00～19：00、毎週金曜日17:00～19:00/子ども全員参加の学習・遊び、昼食提供/水・金曜日14:30～16:00、母語あるいは日本語支援が必要な子どもには日程及び内容により個別に対応/長期休み期間中（夏休み・冬休みなど）の集中学習会/親子社会体験 将来に繋がる職業現場を紹介、行政との連携による就労支援プログラム、民間団体(バザールカフェなど)/緊急生活支援 月1～2回母語で生活状況を聞き取る。ニーズに合わせて宅食や食材等の食料支援・生活物資配付(訪問、郵送)</p>	<p>ほぼ計画通り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●機材の購入によりオンライン対応（通訳・日本語支援・学習など）が増加。</li> <li>●施設での避難生活中のDV被害移住女性へのオンラインによる仕事に必要な日本語教育(介護、工場など)毎週火曜日、京都府外国人介護人材支援センタープログラム(介護勉強会参加)</li> <li>●子どもたちの学習支援 毎週月曜日16：00～19：00@京都YWCA、毎週金曜日15:00～18:00@醍醐いきいき生活センター（子ども全員参加の学習・遊び、昼食提供）</li> <li>●水・金曜日15:30～17:00(子どものニーズに合わせた個別対応)</li> <li>●集中学習会(夏休み)</li> <li>●親子社会体験(多文化経験お出かけ)・当事者同士ファミリーコミュニティ構築のためのグループミーティング(心身のリフレッシュ、感染の不安が少ない自然の中で過ごすプログラム)夏のキャンプ</li> <li>●就労(支援)(バザールカフェ、コミュニティカフェほっこり、うららかふえ)移住女性2名、多文化子ども1名参加中</li> <li>●月1～2回母語で生活状況を聞き取るとニーズに合わせて宅食や食材等の食料支援・生活物資配付(訪問、郵送)</li> <li>●行政機関・地域関連機関との会議（京都市地域自治推進室）地域コミュニティにおける外国籍市民向けのニーズ等について一意見交換及びヒアリング（12/10）山科区・伏見醍醐区のまちづくりアドバイザーとの面談（8/2）醍醐いきいき市民活動センター、醍醐学園(10/)</li> <li>●支援者研修、支援者向けの非対面ツール利用オリエンテーション、研修（対面+非対面）（8月実施）</li> <li>●活動ニュースレター発行(寄付集め) ニュースレター8月、12月発行</li> </ul>

#### IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
<p>(団体として、事業実施後（1年以降）に目標とする状態への指標等を設定している場合、ご記載下さい)</p>

#### V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥4,800,000	¥4,800,000	¥2,231,214	46%
	管理的経費	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
合計		¥0	¥4,800,000	¥4,800,000	¥2,231,214	46%
補足説明		特になし				

#### VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>施設での避難生活中の親子の法的な支援が長伸び、不安定な在留資格の状況でストレスがたまった家族が多い。コロナ時代の新たな対策としてオンライン対応を購入したが非対面対応の限界がある。コロナ感染状況により仕事の変動が多く、今後の見通しが見えないなか安定した自立に進めるのが厳しい状況。周りの資源と人材とのつながりを大事にする。支援者の確保から育成を積極的に進めるべきだがコロナ感染状況から不安を感じる方の多い、資源と人材の使用の工夫が必要。</p>

#### VII. その他

自由記述
<p>特になし</p>

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無	
広報制作物等	有	<a href="https://kyoto.vwca.or.jp/wp-content/uploads/2014/09/NL116.pdf">https://kyoto.vwca.or.jp/wp-content/uploads/2014/09/NL116.pdf</a>
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	